

KIS 国際物流ニュース！ (2020年7月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



中国 618セール 京東物流の「ボーダーレス・ロジスティクス」

中国で毎年恒例となった「618セール」。618は春夏に行なわれるECセールです。独身の日がアリババが始めましたが、618は中国第2位の京東商城(ジンドン)が2010年に創業記念セールとして始めたものです。今年(2020年)の618期間中(6/1~6/18)の決済金額は前年同期比+42%の16兆9,100億元、決済件数は同+52.0%の261億7,800万件だったそうです。

近年、EC各社は地方都市や農村部の取り込みを強化し物流サービスの整備をしており、特にジンドンは独自の物流システムで全国行政区域の9割で当日あるいは翌日配達を実現しているそうです。

京東商城の物流は「京東物流」が担っています。自社モール内に京東名義で商品を販売するオンライン直営店モデル(アマゾン型)を採用しています。商品品質やアフターサービスが高く評価されており、さらに配達スピードが速いことも高評価の一因です。ネット店舗(オンライン)・リアル店舗(オフライン)・物流を融合させた「ボーダーレス・リテール」を実現しています。

物流における「ボーダーレス・リテール」コンセプト、「ボーダーレス・ロジスティクス」とは、自社物流をもってSCMを構築し「クラウド」「テクノロジー」「データ」などのテクノロジーサービスに基づいています。「ボーダーレス・ロジスティクス」実現のためにAI(人工知能)、ビッグデータなどの研究、応用する機構も設立。人工知能で「無人技術」(無人車、無人倉庫、無人店舗、ドローンなど)の研究開発に取り組み、研究開発成果を京東内部の物流業務に利用し実証し、それを対外的にもサービス提供を始めています。

【ウェブセミナー】電子文書管理 第1回 海貨通関業務 AI-OCRの活用と商品情報支援ソリューション

第1回目は商品情報の管理をご支援する効率的な情報登録と、HSコードの実績管理や確認書・商品画像の管理などの業務の効率化をご紹介します。

概要：1.通関業務におけるAI-OCRの有効活用 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社

2.商品確認支援ソリューション eBASE株式会社

日時：2020年7月15日(水) 14:00~15:00 (ご参加13:30~)

詳細：弊社HPのイベントページ <https://www.kisnet.co.jp/event/1426/>

電子文書管理ウェブセミナー 4回シリーズ

第2回 7/29 ブッキング依頼管理 ソリューション

第3回 8/5 ドキュメント管理ソリューション

第4回 8/26 海貨通関業務システムによる

文書の電子管理

KIS

関西総合システム株式会社

<http://www.kisnet.co.jp>